

うるま市の将来に向けて 新庁舎が誕生します



うるま市では、平成17年4月の合併以来、旧市町の庁舎を活用し、分庁方式で事務事業を行ってまいりましたが、手続きの不便さや施設の維持管理コストなどの課題が生じていました。このため、これらの課題の解消と市民の利便性向上を図るために、平成23年度に統合庁舎建設事業をスタートし、平成25年10月に建設工事が始まりました。完成に向け市民の期待がふくらんでいます。



■施設の基本理念

- 人と環境にやさしい、シンプルで機能的な庁舎
1. 市民にやさしく親しまれる庁舎
 2. 環境に配慮し、市民の安心安全な生活を推進
 3. 市民の一体感を醸成し、市民との協働を支援
 4. 社会の変化に対応し、便利で機能的な庁舎

■施設概要

施設名称：うるま市庁舎（新庁舎）
 建築面積：4,856.92㎡
 延床面積：13,127.6㎡
 規模：地下1階、地上3階
 高さ：16.7m



■施設の主な特徴

新庁舎は、自然換気や太陽光、雨水、井水等の自然エネルギーの活用や壁面ルーバーによる熱負荷の軽減による省エネルギー設計となっています。また、外周に回廊を設置し、東西南北に出入口を設けることで、どこからでも入りやすい外部と一体となった設計で、窓口は一元化したサービスが受けられるように広いロビーとなっており、間仕切りの少ない開放的あふれる空間となっています。

地階は駐車場、1階は現在の市民課業務を担う窓口サービス課（仮称）や税関係部署のほか市民スペースを配置、2階は児童家庭課や保育課など子育て関連部署のほか、キッズスペースを設けています。3階は企画部を配置し、庁議室や大講堂を設けています。この他、現本庁舎との一体感を持たせるために1階部分に渡り廊下を設置、安全性の観点から柱頭免震構造を採用し、防災拠点としての機能も整備されています。

食を通じてうるま市を元気にする

うるま市農水産業振興戦略拠点施設



『食を通じてうるま市を元気にする』を理念に、沖縄No.1の直売所を目指して、うるま市農水産業振興戦略拠点施設事業を展開します。

うるま市農水産物の流通戦略・地域食材供給拠点として、第一次産業の持続・発展的な振興と地域産業の活性化に寄与するとともに、沖縄観光の話題拠点となる施設を目指します。

■施設概要

場所：うるま市前原地内
 構造：鉄骨造 直売所棟 平屋
 産直レストラン棟 地上2階
 施設規模：（基本設計時点）

全体敷地面積	13,206㎡
直売所棟	1,790.93㎡
産直レストラン棟1F	864.12㎡
産直レストラン棟2F	470.02㎡
駐車場	6,185㎡（232台分）

うるま市文化観光振興プロジェクト

うるま市生涯学習・文化振興拠点施設



■施設概要

場所：うるま市仲嶺弓田原187番地ほか
 構造：本体RC造、駐車場アスファルト舗装
 規模：本体・地上2階、陶芸窯・地上1階
 延床面積：本体（1階2,454.82㎡ 2階1,317.04㎡ 屋上139.24㎡）
 合計3,911.10㎡
 陶芸窯20㎡

主要施設：1階（多目的ホール、研修室、音楽室、創作活動室、ラーニングcommons、コミュニティcommons、ブラウジングコーナー、放送室）
 2階（研修室、軽音楽室、団体事務室、ラーニングcommons、調理室、多目的室、和室、学習室）

沖縄県は、舞踊や音楽を主体とする伝統芸能が盛んな地域です。中でもうるま市はエイサーをはじめ闘牛、獅子舞など多様な観光資源を有し、沖縄文化の典型を凝縮した地域となっています。「うるま市生涯学習・文化振興拠点施設」は、うるま市における生涯学習と文化振興の拠点として、地域芸能文化の継承＝観光振興に寄与するものとして大きな期待が寄せられています。